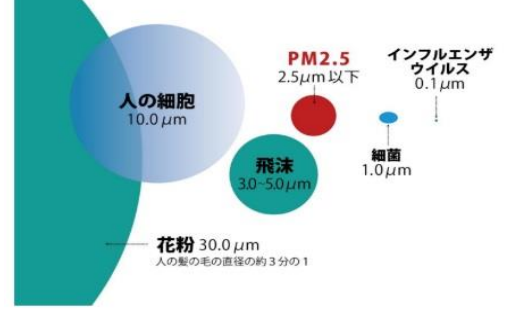


細菌とウイルスの違い (伊藤)



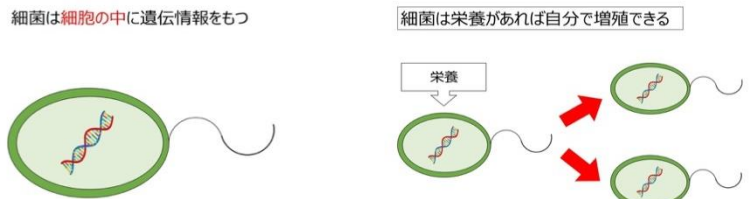
感染症とは、細菌やウイルスが体内に侵入して増殖する病気です。

インフルエンザや敗血症、結核など様々な種類があり、新型コロナウイルスによるかぜ症状、肺炎も感染症です。これらの感染症の治療法や対策には、原因が細菌かウイルスかの違いが関わっています。

細菌とは

細菌は、「細胞を持つ」「栄養を摂取し、そこからエネルギーを生産する」「細胞分裂を繰り返すことによって生存・増殖を行う」このことから「生物である」といえます。むし歯や歯周病も細菌による感染症です。細胞膜や核、DNA などを持ちウイルスよりも複雑な構造をしています。

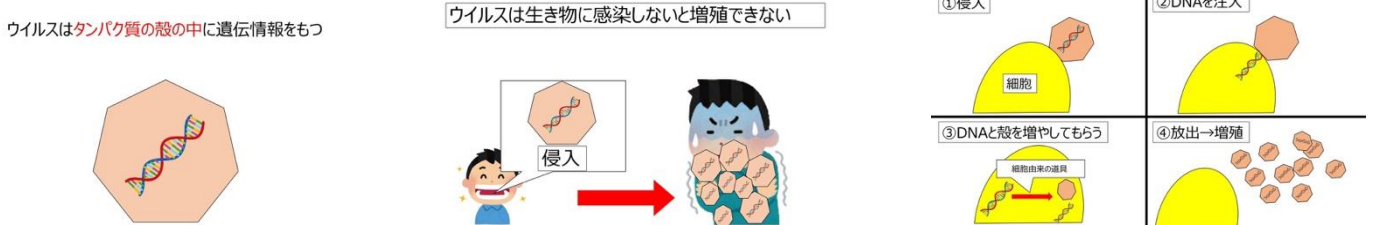
細菌による感染症は、主に抗菌薬が治療に使われます。抗菌薬は細菌の構造を破壊したり働きを妨害することで効果があるため、ウイルスには効きません。



ウイルスとは

ウイルスは細菌と比較して小さく単純な構造をしています。「細胞ではない」「栄養を摂取したり、エネルギーを生産しない」「自力で動くことはできない」「自力で増殖できない」ことから生物ではありません。自力で増殖できないため、他の生物の細胞に付着、侵入し(=感染)、その細胞の核などの機能を利用して増殖します。

単純な構造をしているため変容しやすく、多くのウイルスには細菌のように特効薬というものがありません。一部のウイルスに対しのみ(インフルエンザや麻疹、風疹など)ワクチンが存在します。ウイルス性の感染症にかかった場合は主に対症療法による治療になります。



新型コロナウイルスの影響で、4月7日より約1ヶ月間の緊急事態宣言が発令されました。そこでなぜ1ヶ月間なのだろうか?その目的を考えてみましょう。

世界保健機関(WHO)の基準ではウイルスの潜伏期間の2倍の期間、感染者が新たに発症しなければ終息宣言となります。新型コロナウイルスの潜伏期間は2週間程度とみられており、その潜伏期間中に他の人にウイルス感染させてしまうとさらに広がり、またそこから2週間と繰り返されます。

このことから少なくとも4週間(約1ヶ月間)の緊急事態宣言が発令されたのではないのでしょうか?

その他にも、ウイルスの感染経路は接触感染と飛沫感染とが考えられています。ウイルスを含んだ咳やくしゃみの飛沫は2メートル飛散すると言われているため、密閉、密集、密接を避けることが感染予防につながります。新型コロナウイルスの日本での致死率は2.6%(4/26時点)と、さほど高くないことが知られています。しかし、自発呼吸が出来なくなった人に、マンパワーや物資の不足により人工呼吸器が取り付けられないといった医療崩壊が起こると致死率は何倍にも膨れ上がる可能性があります。感染拡大を阻止するのではなく、医療崩壊を防ぐためとも考えられます。

効果的なワクチンや治療薬も開発に近づいてきています。それまでの間、私たちは十分ながい、手洗い、またソーシャルディスタンスの維持を行い、感染の拡大阻止、ひいては医療現場の崩壊を阻止しましょう。



初夏は植物が育ちやすい！  
～夏の開花、収穫に向けて～



寒い時期が終わり草花が元気に育つ季節になりました。お店に行くと苗が沢山置いてありこれから種を蒔いて栽培しても夏に間に合う物もあります。梅雨の時期になる前に栽培を始め夏にキレイな花に癒されたり実を収穫し食卓を楽しんだりしてみませんか？

これからの時期は種類が豊富です！初めてでも扱いやすい植物をご紹介します！

#### まだ間に合う！種まき

野菜:オクラ 中生エダマメ ゴマ 初夏まきホウレン草 カブ  
花:マリーゴールド ひまわり ペチュニア コスモス

#### 最初は簡単な苗の植え付け

野菜:トマト ナス ピーマン きゅうり ゴーヤ  
花:インパチェンス ゼラニウム アメリカンブルー バーベナ

これからの時期は本当に沢山の種類があって迷ってしまいますね、調べていくと紹介した物の中に通常のサイズより背丈が小さいままの物があることが分かりました！それは、ミニひまわりの小夏、ミニトマトのレジナと言う品種の物です。背丈が大きくならないのでプランターや鉢をベランダや室内で栽培するのにぴったりですね

#### ミニひまわり(小夏)

草丈が 25~30 cm、花の大きさが 10 cmほどのコンパクトなサイズのひまわりです

栽培環境・土づくり：育苗ポット 3号に底石をしき草花用の培養土を入れる

種まき・植え付け：4~6月に種をまき気温が 25℃くらいであれば

10~15日で発芽します

ひまわりは1年草なので根が弱く植え替えに耐えられないので、

種まきの後間引きしながら育てると見栄えが良くなります

管理のポイント：日当たり、風通しの良い環境で育てる

土が乾いたらたっぷり水を与えましょう



#### ミニトマト(レジナ)

草丈が 15~20 cmくらいで支柱などの支えはいらない鑑賞・鉢栽培専用のミニトマトです

栽培環境・土づくり：5号鉢やプランターに野菜用培養土を入れる

種まき・植え付け：4~5月に種をまき気温が 20~30℃くらいであれば

7~14日で発芽します

種まきから30日ほどでプランターに植え付け

管理のポイント：表面の土が乾いたら十分な水分を与えましょう

2週間に1度の液肥を施す

収穫・保存：開花後約35日で果実が赤く色づき始めたら順次収穫していきます

日当たりのよく風通しの良い場所で栽培しましょう



気候が安定してくる5月は作業がしやすく失敗も少ないそうですよ！  
皆さんも育ててみたい植物を見つけてチャレンジしてみたいかたがででしょうか？